

2022/8/2

(うと Q 世話し やっぱり松尾芭蕉って、スゴイ!!) 書庫版



かなり以前、

「俳句位 (5,7,5 の 17 文字) の長さですべて表せるようになるのが自分の夢です」
みたいなことを書きました。

直近 2, 3 の記事で書いてアップロードした後に何とも言えない不納得感に襲われ、再度、
再々度、上記文言に照らし合わせ直してみても、書直しを何度か行ったのですが、その 2, 3
の記事も「こうすればもっとよかったのに」というのが今朝、出て参りましたので、ちょっ
とご報告を。

その 1

直近記事の題名「題名改変書直し版 うと Q 世話し 神さまって「願い事叶え役」って訳じ
ゃない様な気がするんだけど」

で、以下その記事からの引用

「以下の話は日本の風習に対する感想の話で、宗教観そのものに基づく話でも、外国に当て
嵌める話でもないので決して誤解なさりませぬよう。

「靈験あらたか」

「祈願に対して成就率、極めてハイスコア」

「それがいい神様」

という風によく言われるのですが」

云々 (うんぬん)、云々 (ゆいゆい) 長々のご説明し始めた訳ですが、
これは以下の言葉に置き換えればかなりの部分カバーできておりました。

曰く

「ご利益（りやく）の神さま」

つまり神さまって「ご利益（ごりやく）の神さま」ってことだけでいいのかなあ。
だけで、かなりの部分がカバーできていた。

その2

又

直近記事の題名「書直し版 うとQ世話し 見当違いで逆効果」

の中で、再びその記事からの引用を以下に

「人は思っている以上に遥かに優れた想像力がある。

高いアンテナとレーダーを備えている。

今迄見誤っていた。

というのがしばらく前に気づいた事です。

今迄はそれに気づかなかった分、もっと率直に申せば「完全に見くびっていた」分大きな過ちを犯し相手に圧迫や不快感も与えていたようです」

云々（うんぬん）、云々（ゆいゆい）、もひとつオマケに、なんちゃらかんちゃら

をコレマタ

昔のある芸人さんのギャグフレーズを思い出しまして、

曰く

「んもう、言わなくてもいいのに、言うんだもんなあ」

他の文言は完全に不要だった。是だけでよかった。

二つの記事で言いたい事、伝えたい事を表現するのに自分の場合、併せて原稿用紙6枚分の文言を費やしていたのですが、ちゃんとしていれば
たった2行そこそこで済んでいた。

う～む。

こうしてみると今更ながら

「やっぱり松尾芭蕉って、スゴイ!!」

なあ。